SHARP®

エルシーメイト

東北大学未来科学技術共同研究センター川島隆太教授監修

脳を鍛える計算ドリル付き電卓

<もくじ>

◇はじめに 1
◇おねがい 3
◇各部のなまえとキーのはたらき 5
◇モードについて 12
◇計算ドリルについて 13
◇税計算のしかた 23
◇基本計算のしかた 26
◇エラーについて 29
◇電源について 30
◇仕様 32
◇お客様ご相談窓口のご案内 33
◇補修用性能部品の保有期間 36
◇監修者の紹介 37

取扱説明書

ミニナイスサイズ電卓

形名 **EL-BM601**

税率変更が可能な税計算機能付

設定税率が変更できます。
ご使用前や電池交換時には、税率を確認したうえでご使用ください。

安全にお使いいただくために

図記号について この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

⚠ 記号は、気をつける必要があることを表しています。

❗ 記号は、しなければならないことを表しています。

⚠注意

- 電池は誤った使いかたをすると、破れつや発火の原因となることがあります。また、液もれして機器を腐食させたり、手や衣服などを汚す原因となることもあります。以下のことをお守りください。
  - ・電池のプラス“＋”の向きを正しく入れる。
  - ・使えなくなった電池を機器の中に放置しない。
  - ・水や火の中に入れたり、分解しない。
- この製品に使用している電池を取り外した場合は、小さなお子さまが電池を誤って飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かない所に置いてください。
  万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

はじめに

このたびは、「電卓 EL-BM601」をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この製品に搭載している「計算ドリル」機能は、「ブレインイメージング研究」の日本における第一人者である、東北大学未来科学技術共同研究センター川島隆太教授の学術指導結果をもとに、商品化したものです。

単純計算や音読が、脳をたくさん使う効果的なトレーニングであることが科学的に実証されています。脳の働きは、20代の青年期を過ぎるとだんだん低下していきます。これは、体力や筋力が年々低下するのと同じです。しかし、体力や筋力は毎日の運動習慣で低下を防ぐことができます。脳も、毎日積極的に使うことで、機能の低下を防ぐことができると言われています。

そして、この製品の「計算ドリル」機能で出題される単純計算を解くことにより、創造力、記憶力、コミュニケーション力、自制力などの中枢である前頭前野（前頭葉の一部）が活発に働いていることが、確認されました。

積極的に脳を使う習慣をつけ、脳を若く健康に保ち、脳の働きを向上させるため、この製品の「計算ドリル」機能は、毎日、できるだけ同じ時間に行うことをおすすめします。

※ この製品は医療機器ではありません。効果については個人差があります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。この取扱説明書は、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。

<ご注意>

- お客様または第三者がこの製品および付属品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は、一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

この取扱説明書でのキーの記載方法について

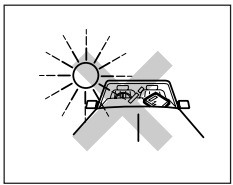
- 各キーは、基本的に枠(□)で囲んで表します。ただし、計算例の数字は枠で囲まずに記載しています。
- いくつかのキーには2つの働きがあります。使用している機能によって、選択できる機能が異なります。この取扱説明書では、そのとき使用する機能のみを記載しています。

【例】 成績▲ + は状況に応じて [+] または [成績▲] と記載します。

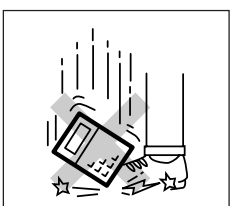
【例】 ON C·CE は状況に応じて [C·CE] または [ON] と記載します。

【例】 正解率 % は状況に応じて [%] または [正解率] と記載します。

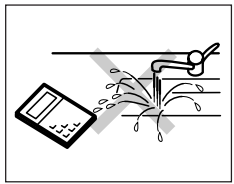
おねがい



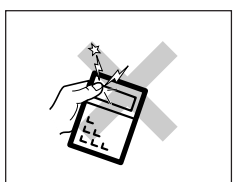
日の当たる自動車内・直射日光の当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。
高温により、変形や故障の原因になります。



落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。
大きな力が加わり、壊れることがあります。



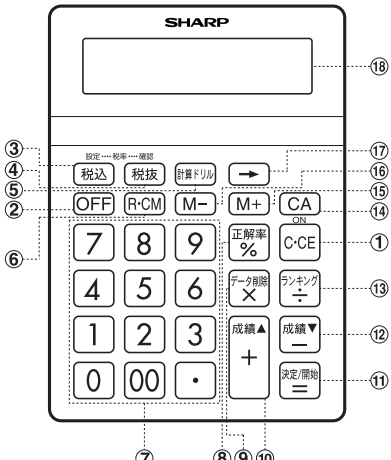
この製品は防水構造になっていませんので、水など液体がかかるところでの使用や保存は避けてください。
雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。



液晶表示部はガラスでできていますので、強く押さないでください。
割れることがあります。

お手入れに揮発性の液体(シンナー、ベンジンなど)や、ぬれた布などは使用しないで、乾いたやわらかい布をご使用ください。
変質したり色が変わったりすることがあります。

各部のなまえとキーのはたらき



① ON C·CE **電源オン(入)／クリア・クリアエントリーキー：**

- 電源を入れるときに押します。
- 置数直後やメモリーの内容を呼び出したときなどに、1回押せば表示数値がクリアされます。置数時のエラーや概算エラーを解除することもできます。(28、29ページ参照)
- 電卓内部の数値や計算命令をクリアするときは、2回押します。(設定した税率やメモリーの内容、記憶されている計算ドリルの100問解き終えるのにかかった時間(以降、所要時間と記載)、正解率はクリアされません。)
- 計算ドリルモードでは、電卓モードへ切り替えるときに使用します。ただし、計算ドリルの計算問題が表示されているときは除きます。

② OFF **電源オフ(切)キー：**
電源を切るときに押します。

③ 設定 税込 **税込計算／税率設定キー：**

- 置数直後などに押せば表示数値を税抜額とみなし、税込額を求めます。もう一度押すと税額が求まります。以降、このキーを押すたびに税込額と税額を交互に表示します。
- C·CE を2回押した後に押し、置数後再びこのキーを押すと置数値が税率として設定されます。

④ 確認 税抜 **税抜計算／税率確認キー：**

- 置数直後などに押せば表示数値を税込額とみなし、税抜額を求めます。もう一度押すと税額が求まります。以降、このキーを押すたびに税抜額と税額を交互に表示します。
- C·CE を2回押した後に押すと税率を確認することができます。

⑤ 計算ドリル **計算ドリルキー：**
計算ドリルの開始画面にするとき押します。

⑥ R·CM **リコール・クリアメモリーキー：**
- メモリーの内容を呼び出します。
- 2回続けて押せばメモリーの内容をクリアします。

⑦ 00 0 ～ 9 · **置数キー：**
数値を置数するときに押します。

⑧ 正解率 % **パーセント計算／正解率キー：**
- パーセント計算を行うときに押します。
- 計算ドリルモードでは、記憶されている計算ドリルの正解率を確認するときに使用します。（18、20、21ページ参照）

⑨ データ削除 × **乗算／データ削除キー：**
- 乗算（掛け算）を行うときに押します。
- 計算ドリルモードでは、記憶されている計算ドリルの所要時間、正解率をすべて削除するときに使用します。（22ページ参照）

⑩ 成績▲ ＋ **加算／成績▲キー：**
- 加算（足し算）を行うときに押します。
- 計算ドリルモードでは、記憶されている所要時間を計算ドリルをした順番が古いものから順（旧→新）に確認するときに使用します。（17ページ参照）

⑪ 決定/開始 = **イコール／決定・開始キー：**
- 四則計算などで答えを求めるときに押します。
- 計算ドリルモードでは、計算ドリルを始めるときや表示された計算問題の答えを決定するときに使用します。

⑫ 成績▼ − **減算／成績▼キー：**
- 減算（引き算）を行うときに押します。
- 計算ドリルモードでは、記憶されている所要時間を計算ドリルをした順番が最新のものから順（新→旧）に確認するときに使用します。（17ページ参照）

⑬ ランキング ÷ **除算／ランキングキー：**
- 除算（割り算）を行うときに押します。
- 計算ドリルモードでは、記憶されている所要時間の上位3位までを確認するときに使用します。（19ページ参照）

⑭ CA **クリアオールキー：**

- メモリーを含めて、電卓内をすべてクリア(ご破算)します。
  (設定した税率や記憶されている計算ドリルの所要時間、正解率はクリアされません。)
- 意味のない数字や記号が表示されているとき、C·CE を押しても解除できない場合に押します。

⑮ M+ **メモリープラスキー：**
メモリーから加算します。

⑯ M− **メモリーマイナスキー：**
メモリーから減算します。

⑰ → **右シフトキー：**
表示数値が 1 桁ずつ右に移動します。置数値を 1 桁訂正するときに使用します。また、置数時のエラーや概算エラーを解除するときにも使用します。(28ページ参照)

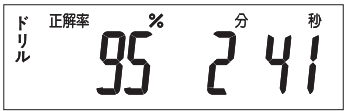
⑱ **液晶表示部**
シンボルは同時にすべてが表示されることはありません。

計算ドリルモードで表示されるシンボル

ドリル ： 計算ドリルモードを設定しているときに表示します。

正解率 **%**：
計算ドリルの正解率をこのシンボルと数字で表示します。

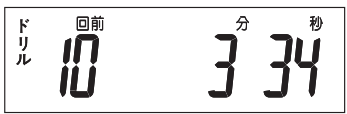
・正解率95%の表示例



回前問目：

- 何回前の計算ドリルか“**回前**”シンボルと数字で表示します。数字が小さいほど、最近行った計算ドリルです。

・10回前の表示例



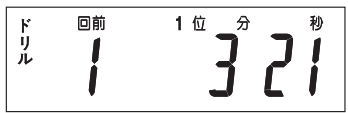
- 計算問題が何問目か“**問目**”シンボルと数字で表示します。

・100問目の表示例

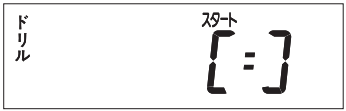
123位：

所要時間が1位のときは“**1　位**”と表示します。同様に2位のときは“**2　位**”、3位のときは“**3位**”と表示します。

・1 位の表示例



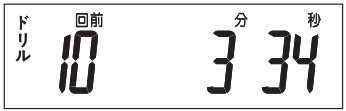
スタート： 計算ドリルの開始画面で表示します。



分　　秒：

計算ドリルの所要時間をこのシンボルと数字で表示します。

・所要時間3分34秒の表示例



＋ ： 計算ドリルで出題される計算問題のプラス“+”記号です。

－ ： 計算ドリルで出題される計算問題のマイナス“－”記号です。

× ： 計算ドリルで出題される計算問題のカケル“×”記号です。

＝ ： 計算ドリルで出題される計算問題のイコール“=”記号です。

電卓モードで表示されるシンボル

－ ： 数値が負のとき表示数値の左側に表示されます。

E ： エラーが発生したとき表示されます。

＝ ： [=]、[%]を押して答えを求めたとき、[M+]、[M−]を押してメモリーの加減算を行ったとき、税率を設定したとき表示されます。

税率 ： 税率を設定するときや呼び出したとき表示されます。

税込抜 ：

- 税率を設定するときや呼び出したとき、税額を求めたときは“**税**”と表示します。
- 税込額を求めたときは“**税込**”と表示します。
- 税抜額を求めたときは“**税　抜**”と表示します。

M ： メモリーに 0 以外の数値が記憶されているとき表示されます。
このシンボルは [R·CM] を2回押すか、[CA] を押すと消えます。

+ − × ÷ ： [+]、[−]、[×]、[÷] を押したとき表示されます。

モードについて

この製品には、電卓モードと計算ドリルモードの2つのモード(状態)があります。
[ON] または [CA] により電源を入れたときは、常に電卓モードです。

電卓モード

- 「税計算のしかた」(23ページ)、「基本計算のしかた」(26ページ)を行うときは、このモードに設定します。
- 計算ドリルモードからこのモードへ切り替える方法は、16ページ、18ページ、21ページ、22ページを参照してください。
- このモードでは、キーに青色で書かれている“正解率”、“データ削除”、“成績▲”、“決定/開始”、“成績▼”、“ランキング”の機能は働きません。

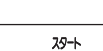
計算ドリルモード(“ドリル”シンボルが表示されます。)

- 「計算ドリルについて」(13ページ)を行うときは、このモードに設定します。
- 電卓モードからこのモードへ切り替えるときは、[計算ドリル] を押してください。
- このモードでは、次に記載した機能やキー操作以外は働きません。
  キーに青色で書かれている機能、
  [C·CE]・[ON]・[→]、[OFF]・[0]~[9] および [00] によるキー操作

計算ドリルについて

計算ドリルを始める

簡単な計算問題(足し算、引き算、掛け算)を速くたくさん解くことが脳を鍛えるトレーニングになります。液晶表示部に表示される計算問題の答えを [0] ～ [9] でできるだけ速く置数し [決定/開始] を押してください。計算ドリルは毎日、継続して行うことをおすすめします。

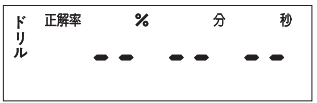
	操　作	表　示	備　考
①	[ON]		
②	[計算ドリル]		計算ドリルの開始画面が表示されます。
③	[決定/開始]		準備ができたら [決定/開始] を押して計算ドリルを始めます。“－３－”、“－２－”、“－１－”とカウントダウンした後、1問目の計算問題が表示されます。 計算問題は全部で100問出題されます。

			（計算問題は毎回変わります。）
④	14		答えを置数します。 置数をまちがえたときは 決定/開始 を押す前に、 C·CE で表示数値をクリアしてから置数し直すか、 → で表示数値を1桁ずつ訂正してください。

⑤	決定/開始		④の操作で置数した答えで決定のときは 決定/開始 を押してください。(④の操作で何も置数しない(キー入力しない)で 決定/開始 を押すと、表示されている計算問題は不正解となり正解率が低くなります。) 2問目の計算問題が表示されます。
	⋮ 手順④、⑤を繰り返して計算問題を解いていきます。 ⋮		
⑥	13		答えを置数します。
⑦	決定/開始		100問すべて解き終えると正解率と所要時間が表示されます。 所要時間が上位3位までのときは、そのシンボル(“1 位”、“2 位”、“3位”のいずれか)も表示されます。

- 正解率と所要時間を、最後の計算ドリルの結果からさかのぼって最大30件まで記憶します。30件を超えたときは、古い計算ドリルの正解率と所要時間から順に削除されます。
- 次の場合は、正解率と所要時間は記憶されません。

1）計算ドリルの途中で電卓モードへ切り替えたときや
　計算ドリルの開始画面に戻ったとき
2）所要時間が29分59秒を超えたとき



- 所要時間が29分59秒を超えたときの表示

電卓モードへ戻るには

- [計算ドリル] [C·CE] と押します。
（計算ドリルの開始画面で [C·CE] を押します。）

計算ドリルの開始画面（②の表示）に戻るには

- [計算ドリル] を押します。

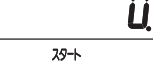
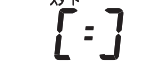
成績を呼び出す

記憶されている計算ドリルの所要時間を、成績▲（または 成績▼）で呼び出します。

成績▲：計算ドリルをした順番が古いものから順(旧→新)に呼び出します。

成績▼：計算ドリルをした順番が最新のものから順(新→旧)に呼び出します。(【例】では⑥→⑤→④→③の順)

【例】 記憶されている所要時間4件を古いものから順に呼び出す場合

	操 作	表 示	備 考
①	ON		
②	計算ドリル		計算ドリルの開始画面が表示されます。
③	成績▲		4回前の計算ドリルの所要時間です。 この所要時間は3位に該当しますので“3位”シンボルも表示されます。
④	成績▲		3回前の計算ドリルの所要時間です。

⑤	成績▲		2回前の計算ドリルの所要時間です。 この所要時間は2位に該当しますので“2 位”シンボルも表示されます。
⑥	成績▲		1回前の計算ドリルの所要時間です。 この所要時間は1 位に該当しますので“1 位”シンボルも表示されます。

- 以降、成績▲（または 成績▼）を押すたびに4回前の計算ドリルの所要時間（③の表示）（または1回前の計算ドリルの所要時間（⑥の表示））から繰り返し表示されます。
- 所要時間が1件も記憶されていないとき、成績▲（または 成績▼）の機能は働きません。
- 所要時間が表示されているとき、正解率 を押すと正解率を表示します。もう一度 正解率 を押すと、元の“回前”表示に戻ります。

電卓モード（①の表示）へ切り替えるには

- ○CE を押します。

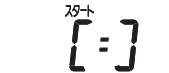
計算ドリルの開始画面（②の表示）に戻るには

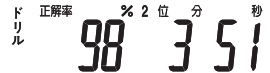
- 計算ドリル を押します。

ランキングを見る

記憶されている計算ドリルの所要時間から上位3位までを、ランキング で呼び出します。

【例】 記憶されている所要時間が2件の場合

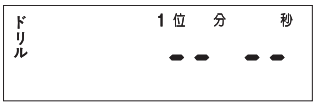
	操 作	表 示	備 考
①	ON		
②	計算ドリル		計算ドリルの開始画面が表示されます。
③	ランキング		1位の所要時間です。
④	ランキング		2位の所要時間です。

⑤	正解率		2位の所要時間の正解率です。 正解率 でそのとき表示されている所要時間の正解率も表示します。もう一度 正解率 を押すと消えます。
⑥	ランキング		記憶されている所要時間は2件ですので、3位はこの表示になります。 この表示のとき 正解率 の機能は働きません。

- 以降、ランキング を押すたびに1位の所要時間(③の表示)から繰り返し表示されます。
- 100問すべて解き終え、正解率と所要時間が表示されているときや 成績▲、成績▼ で所要時間を呼び出したときにも ランキング で上位3位までを呼び出すことができます。
- 順位付けについて
  成績は、所要時間が短い順に 1位、 2 位、3位･･･と順位が付けられます(正解率は順位付けには利用されません)。
  もし、所要時間が同じ成績が複数あった場合は、すべて同じ順位になります。
  【例1】 所要時間3分50秒、3分34秒、3分21秒が記憶されているときの順位付け：
  3分21秒は1位、3分34秒は2位、3分50秒は3位となります。
  【例2】 所要時間3分21秒(1位に該当)が3件記憶されているときの順位付け：
  すべて1位となります。

【例3】 所要時間3分21秒(1位に該当)が2件、それに次ぐ3分34秒が1件記憶されているときの順位付け：
3分21秒はいずれも1位、3分34秒は3位となります。
【例4】 所要時間3分21秒(1位に該当)が1件、それに次ぐ3分34秒が2件記憶されているときの順位付け：
3分21秒は1位、3分34秒はいずれも2位となります。

- 所要時間が1件も記憶されていないときに [ランキング] を押すと、1位、2位、3位とも下の表示例のように分、秒は“－ －”の表示になります。



また、この表示のとき [正解率] の機能は働きません。

電卓モード(①の表示)へ切り替えるには

- [C·CE] を押します。

計算ドリルの開始画面(②の表示)に戻るには

- [計算ドリル] を押します。

データを削除する

記憶されている計算ドリルの所要時間、正解率を [データ削除] ですべて削除します。

	操　作	表　示	備　考
①	[ON]		
②	[計算ドリル]		計算ドリルの開始画面が表示されます。
③	[データ削除]		計算ドリルの所要時間、正解率はすべて削除されました。

- 削除しないときは [データ削除] は押さないで、[C·CE] を押してください。

電卓モード（①の表示）へ切り替えるには

- [C·CE] を押します。

税計算のしかた

税計算の専用キーを [税込]、[税抜] を使って、税込額、税抜額、税額を求めることができます。

- 税計算を行うときには、まず税率の設定／確認をします。
  ご使用の前には、必ず税率を確認してください。

税率の設定

- 税率は、4桁の範囲で設定(または変更)できます。(小数点は1桁と数えません。)

【例】 税率を5%に設定する。

操　作	表　示
[C·CE] [C·CE]	0.
[設定] 5 [設定]	税率 税 = 5.

ご注意： 設定した税率は、変更するまで記憶されています。ただし、電池の消耗(30ページ参照)などで設定した税率が変化することがあります。

税率の確認

【例】 税率を確認する。(税率：5%)

操　作	表　示
C·CE C·CE	0.
確認	税率 税 5.

税込計算

【例】 800円の税込額、税額を求める。(税率：5%)

操　作	表　示
C·CE C·CE 800	800.
税込	税込 840.
税込	税 40.

以降、 税込 を押すたびに税込額と税額を交互に表示します。

税抜計算

【例】税込表示額が840円の商品と525円の商品の合計額、税抜額、税額を求める。（税率：5%）

操　作	表　示
C·CE C·CE 840 + 525 =	= 1365.
税抜	税抜 1300.
税抜	税 65.

以降、 税抜 を押すたびに税抜額と税額を交互に表示します。

基本計算のしかた

- 計算を始める前に [C·CE] を2回押して、電卓内部の数値や計算命令をクリアしてください。
- 実際には “＝”、“＋ －”、“× ÷” のシンボルが表示されますが、この計算例の表示では記載を省略しています。

計算例	操作	表示
	[C·CE] [C·CE]	*0.*
(−24+2)÷4=−5.5	[−] 24 [+] 2 [÷] 4 [=]	*−5.5*
34+57=91 45+57=102	34 [+] 57 [=] 加数+57が 45 [=] 定数となります。	*91.* *102.*
38−26=12 35−26=9	38 [−] 26 [=] 減数−26が 35 [=] 定数となります。	*12.* *9.*

計算例	操作	表示
68×25=1700 68×40=2720	68 [×] 25 [=]　被乗数68×が 40 [=]　定数となります。	*1'700.* *2'720.*
35÷14=2.5 98÷14=7	35 [÷] 14 [=]　除数÷14が 98 [=]　定数となります。	*2.5* *7.*
200×10%=20	200 [×] 10 [%]	*20.*
(9÷36)×100=25	9 [÷] 36 [%]	*25.*
200+(200×10%)=220	200 [+] 10 [%]	*220.*
$4^6=(4^3)^2=4096$	4 [×] [=] [=] [×] [=]	*4'096.*
1/8=0.125	8 [÷] [=]	*0.125*

計算例	操作	表示
25 × 5 = 125 −) 84 ÷ 3 = 28 +) 68 +17 = 85 182	R·CM R·CM ←計算の前にメモリーをクリアします。 25 × 5 M+ 84 ÷ 3 M− 68 + 17 M+ R·CM R·CM • M+、M− は = の働きもかねています。	*125.* M *28.* M *85.* M *182.* M *182.*

入力訂正のしかた

誤	正	訂正操作	表示
2 + 3	→ 2 + 4 = 6	2 + 3 C·CE (または →) 4 =	*6.*
5 × 2	→ 5 ÷ 2 = 2.5	5 × ÷ 2 =	*2.5*
123456	→ 123478	123456 → → 78	*123'478.*

エラーについて

電卓モードで次の場合はエラーとなり、“E”シンボルを表示します。このときは [C·CE] でエラーを解除してください。(②および⑤の場合は、[→] でも解除できます。)

① 除数が0の除算を行ったとき　例：5 [÷] 0 [=]

② 整数部を11桁以上入力したとき

③ メモリーの数値の整数部が10桁を超えたとき
(エラー解除後、メモリー内部の数値をクリアしたいときは [R·CM] を2回押します。)

④ 税計算で求めた計算の結果あるいは途中結果の整数部が10桁を超えたとき

⑤ 計算結果の整数部が11～20桁になったとき：概算

例：　9876543212 [÷]
0.444 [×] →　E *2.224446669*
エラー解除 [C·CE] →　*2.224446669*
555 [=] →　*=1'234.567901*
↑
百億の位(概数12兆3456億7901万)

ご注意：計算結果の整数部が21桁になった場合、概算はできません。

電源について

自動節電機能(オートパワーオフ機能)

この製品は、約7分間キー操作をしないと、電池保護のため自動的に電源が切れ表示が消えます。使用状態により、数分の長短があります。新たに計算をするときは、[ON]を押してください。計算ドリルモードでこの機能が働いて表示が消え[ON]を押した場合も電卓モードに設定されます。設定していた税率やメモリーの内容、記憶されている計算ドリルの所要時間、正解率は保持されています。

電池の使用上のご注意

冒頭の「安全にお使いいただくために」もよく読んでお取り扱いください。

- 消耗した電池をそのままにしておきますと、液もれにより電卓を傷めることがあります。
- 最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、所定の連続使用時間に満たないうちに、寿命が切れることがあります。

電池交換の時期

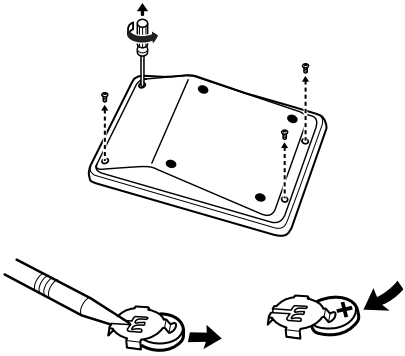
次のような現象が現れたら新しい電池と交換してください。

- 正面から見た表示が薄くて見にくい。
- 自動節電機能(オートパワーオフ機能)が働いて表示が消えているとき、[ON]または[CA]を押しても何も表示しない。

電池交換のしかた

使用する電池はリチウム電池(CR2032)1個です。

ご注意： 電池交換をすると、設定していた税率やメモリーの内容、記憶されている計算ドリルの所要時間、正解率は消失します。重要な内容は必ず紙などに控えておいてください。



電池を交換したら

- [ON] [CA] と押し、液晶表示部に“0.”が表示されることを確認してください。もし、“0.”が表示されない場合は、もう一度電池を取り外して入れ直し、再度表示を確認してください。
- 電卓モードで税率を再度設定し直してください。(23ページ参照)

仕　様

形　　名	EL-BM601
表　　示	液晶
計算桁数(概算)	10桁（11桁～20桁）
計算機能	加減乗除、定数計算、メモリー計算、パーセント計算、べき乗計算、逆数計算、税計算、計算ドリルなど
電　　源	3.0V ⎓（DC）：リチウム電池(CR2032)1個(本体内蔵)
消費電力	0.0012W
電池使用時間	約3年(1日当たり1時間使用した場合) ・使用環境や使用方法により変動します。
自動節電機能	約7分
使用温度	0℃～40℃
外形寸法	幅100mm×奥行151.5mm×厚さ33mm
質　　量	約132g（電池含む）
付属品	リチウム電池1個(本体内蔵)、取扱説明書

お客様ご相談窓口のご案内

◆ 修理を依頼されるときは

仕様および使用上のご注意に従った正常な使用状態で、故障した場合には、修理ご相談窓口に修理をお申しつけください。保証期間中(お買いあげの日から1年間)は、無料で修理または同等品と交換させていただきます。

★ 保証期間内でも、次の場合は有料修理となります。

(イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷
(ロ) お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷
(ハ) 過酷な使用による故障・損傷
(ニ) 火災・地震および風水害その他天災地変など、外部に要因がある故障・損傷
(ホ) 電池の液もれによる故障・損傷
(ヘ) 消耗品(リチウム電池)が損耗し取り替えを要する場合

◆ **修理ご相談窓口**

修理は、(電卓)消費者相談係に郵便番号、ご住所、お名前、電話番号、お買いあげ年月日および販売店名(または、贈答品)、故障内容などを記入のうえ製品を郵送してください。(送料はお客様負担)

〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492

シャープ株式会社　情報通信事業本部

(電卓)消費者相談係　電話　**0570-05-0892**

(当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせいたします。)

(注) 携帯電話・PHSからは、下記の番号をご利用ください。

一般電話　**(0743) 55-0892**

◆ **一般ご相談窓口**

この製品についてのご意見、ご質問は、相談室へお申しつけください。

お客様相談センター

0120-303-909

フリーダイヤルがご利用いただけない場合は

東日本相談室（043）351-1822
西日本相談室（06）6792-1583

- 電話番号をよくお確かめのうえおかけください。
- 電話番号などは変わることがあります。その節はご容赦願います。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は電卓の補修用性能部品を製造打切後5年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- 修理にかえ製品と交換させていただく場合は、お買いあげいただいた製品と同一品または同等品との交換になります。（保証期間経過後は、ご要望により有料交換いたします。）

シャープ電卓ホームページのご案内

- ホームページでも、くわしく商品をご紹介しています。
  http://www.sharp.co.jp/calc/

監修者の紹介

川島　隆太（かわしま　りゅうた）
1959年　千葉県千葉市　生まれ。

東北大学医学部卒業後、同大学院医学研究科修了。
スウェーデン王国カロリンスカ研究所客員研究員、東北大学助手、講師を経て、現在、同大学未来科学技術共同研究センター教授。医学博士。元文化審議会国語分科会委員。
脳のどの部分にどのような機能があるのかを調べる「ブレインイメージング研究」の、日本における第一人者。

●製品についてのお問い合わせは‥

お客様相談センター	フリーダイヤルがご利用いただけない場合は
0120-303-909	東日本相談室 TEL **043-351-1822** FAX **043-299-8280** 西日本相談室 TEL **06-6792-1583** FAX **06-6792-5993**

《受付時間》 月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

●修理のご相談は‥ 34ページに記載の『(電卓)消費者相談係』をご参照ください。

●シャープホームページ http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部　〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

PRINTED IN CHINA
06DT(TINSJ0854EH01)